

## 第 1 学年 2 組 国語科学習指導案

### 1 単元名 情報を読み解く

目的や相手に応じて、情報を編集する「行事案内リーフレット」(三省堂 1 年)

### 2 指導観

- 本単元は、急速に情報化が進展する社会において、さまざまな媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報をさまざまな手段で表現したりすることが求められていることから、価値ある教材といえる。リーフレットとは、催し物の案内や商品の説明等に使用される一枚ものの資料である。受け取った人が「やってみたい」「わかりやすい」等と思えるような工夫がされており、それらの工夫には情報を送った側の意図が含まれている。思いつくままに並べられた情報とは異なり、どのような内容・目的・相手なのかを明確にし、どのような伝え方であれば効果的かを吟味して情報を送るのである。リーフレットの内容を考えるときのポイントとして、目的意識をもつ、相手意識をもつの 2 つが挙げられている。目的意識をもつとは「受け取った人に〇〇してもらおう」、相手意識をもつとは「受け取る人が必要としている情報を適切に正確に提示する」「失礼のない表現、理解しやすい表現を心がける」「受け取った人が〇〇したくなるような情報や送り手の思いを提示する」と具体的に示している。さらに、リーフレット作成の手順や推敲のポイントを示すことで完成に向けて見通しをもって進めることができるような展開となっている。
- 本学年の生徒は「4 月標準学力検査」の分析結果から「書く能力」に課題があることが明らかになった。県平均標準比は 106、過去 2 年間の結果と比較しても危機的状況は実感しにくいものの、「書く能力」の [A] については 5 割を下回っている。「読む能力」の [A] については、過去 2 年間のポイントを上回り良好であるが、[C] が 1 割を上回っており、中低位層の生徒の底上げが課題である。

H30入学 1 年生	H29入学 1 年生 (現 2 年生)	H28入学 1 年生 (現 3 年生)
教科計の県平均標準比 106	教科計の県平均標準比 109	教科計の県平均標準比 104
領域別得点者数分布	領域別得点者数分布	領域別得点者数分布
<b>・書く能力 [A]49%[B]36%[C]16%</b> ・読む能力 [A]37%[B]51%[C]12% ・知識・理解 [A]44%[B]38%[C]18%	<b>・書く能力 [A]57%[B]32%[C]11%</b> ・読む能力 [A]33%[B]59%[C] 8% ・知識・理解 [A]37%[B]38%[C]24%	<b>・書く能力 [A]56%[B]31%[C]13%</b> ・読む能力 [A]29%[B]59%[C]13% ・知識・理解 [A]39%[B]35%[C]26%

本学級の生徒も数値的に同様の傾向を示している。「書く能力」を高めるためには「読む能力」を両輪と考え、双方を高める手立てを取っていく必要がある。1 学期は、物語文『オオカミの友だち』で「この物語に続きがあるとしたらオオカミはもう一度クマと一緒に行動するか」、説明文『クジラの飲み水』で「筆者が文章で行っている工夫とその効果は何か」について、条件にしたがって書く課題に取り組んでいる。

- そこで、本教材の指導にあたっては、小学校 6 年生に向けて『大原中学校の生活』を紹介するリーフレットを作るという課題を設定し、相手にとって必要な情報をわかりやすく書くことができるようにすることをねらいとする。そのためには、次の手立てをとる。
- ① 学習の見通しと意欲をもたせるために、日常生活にありがちなリーフレット 2 枚を比較し、表現の工夫とその効果について自分の考えを書く場を設定する。
- ② 掲載内容を決めさせるために、目的意識と相手意識をもたせ、掲載したい情報とその情報を掲載する理由、情報収集の方法、情報の示し方について検討する場を設定する。
- ③ わかりやすく書くことができるようにするために、構成や表現の仕方について相互交流する場を設定する。

### 3 単元目標

- 小学校 6 年生が必要としている情報について考え、わかりやすく書こうとする。  
[主体的に学習に取り組む態度]
- 中学校生活で体験したことや学習したことなどを基に情報の収集・取捨選択・分類・整理を行い、リーフレットで伝えたいことを明確にできる。  
[思考力、判断力、表現力等] B 書くこと ア
- リーフレットを読み返し、小学校 6 年生の立場に立ち、推敲のポイント(表記や語句の用法、叙述の仕方など)を踏まえて内容を整えることができる。  
[思考力、判断力、表現力等] B 書くこと エ
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、語彙を豊かにすることができる。  
[知識及び技能] (1) ウ

#### 4 単元計画（6時間）

主：主体的に学習に取り組む態度      A：話すこと・聞くこと      B：書くこと      C：読むこと      知・技：知識及び技能

【ねらい】 小学校6年生に向けて『大原中学校の生活』を紹介するリーフレットを作るために、相手にとって必要な情報をわかりやすく書くことができるようにする。				
次	時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準
一	1	1 学習の見通しをもつ。 ・リーフレットがどのようなものか、複数のサンプルからイメージする。 ・小学校6年生に向けて『大原中学校の生活』を紹介するリーフレットを作る目的をつかむ。 2 日常生活にありがちなリーフレット2枚を比較し、表現の工夫とその効果について考える。 3 2枚のリーフレットのどちらかを選び、表現の工夫と効果を条件にしたがい、自分の考えを書く。	・リーフレットとパンフレットの違いをサンプルを示しながら押さえる。 ・小学校6年生に向けて『大原中学校の生活』を紹介するリーフレットを作ることを伝え、意欲を喚起する。 ・思考ツールとしてベン図を用い、思考を可視化できるようにする。 ・表現の工夫と効果をリーフレット作りに活用させる。	主：リーフレットがどのようなものか関心をもとうとしている。 (様相観察)  B：表現の工夫と効果を条件にしたがい、自分の考えを書いている。 (ワークシート)
	2	1 『大原中学校の生活』に掲載したい情報について、その情報を掲載する理由を踏まえて検討する。 ・なぜその情報を小学校6年生が必要としていると考えたのかを明確にする。 2 情報収集の方法、情報の示し方について交流し、見通しをもつ。 ・どのような資料をどのように使えばいいのかを具体的に挙げる。	・「なぜ」という問いを返すことで深く考える場を設定し、理由を明確にさせる。  ・情報収集の方法としては、生徒総会資料や生徒会新聞などの印刷物以外にも、人から聞いた話でもいいということ伝える。	B：何のために、どのような意図で掲載しようとするかを具体的に考えている。 (ワークシート)
	3	1 前時を振り返り、検討内容を整理したノートを基に、どの情報を収集するかグループで分担する。 2 実際に情報を収集する。 ・小学校6年生が必要としている情報という視点を念頭に置く。 3 収集した情報をグループで交流し、掲載内容と下書きの分担を決める。	・各自で準備した資料をグループで確認し、情報を共有しながら情報収集をするように指示する。  ・小学校6年生のためという相手意識をもつように指示する。	B：収集した情報を意図に応じて取捨選択・分類・整理を行い、伝えたいことを明確にしている。 (ワークシート)
二	1	1 わかりやすく興味を引きつける構成をグループで考え、完成イメージを簡単な図で表す。 ・掲載する順序や各内容の場所や分量、イラストや写真の配置などをラフ・レイアウトを書いて確認する。 2 担当した掲載内容に関する情報を分類・整理し、伝えたいことを明確にして下書きをする。	・ラフ・レイアウトには方眼紙を用い、分量の目安が視覚化できるようにする。 ・担当した掲載内容をレイアウトの分量にあわせて下書きをするよう指示する。 ・興味を引きつける効果的な見出しを考えるよう指示する。	B：書く内容の中心が明確になるように、効果的な見出しを考えて書いている。 (ワークシート)
三	1	1 下書きを読み合い、構成や表現の仕方を見直す。 ・推敲のポイントを踏まえる。(教科書P95) 2 清書をする。	・小学校6年生にとって必要でわかりやすい内容になっているかを、推敲のポイントを踏まえて修正させる。	B・知・技：表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて修正している。 (ワークシート)
四	1	1 完成したリーフレットのよさや予想される反応等を挙げ、リーフレット作りを振り返る。 ・各グループで作ったリーフレットを比較する。 2 2組からどのリーフレットを実際に印刷して手渡すかを投票で決める。	・リーフレットを比較し、それぞれのよさに着目して考えさせる。 ・小学校6年生目線で読むことで、どんな感想や意見をもつか予想させる。	主：リーフレットについて、よさや予想される反応を積極的に考えようとしている。 (ワークシート)

5 本時 平成30年9月20日(木) 第5校時 1年2組教室 (第一次の2時)

(1) 本時の指導観

前時までに生徒は、日常生活にありがちなリーフレット2枚を比較し、表現の工夫とその効果について自分の考えを整理することで、情報を送る側の意図に気付くことができている。本時では、『大原中学校の生活』に掲載したい情報について、何のために、どのような意図で掲載しようとするかを、交流活動を通して言葉による見方や考え方を働かせることにより、具体的に考えることができるようにする。

(2) 主眼

何のために、どのような意図で掲載しようとするかを具体的に考えることができるようにする。

(3) 準備 ワークシート、新入生説明会資料(H29)

(4) 展開

段階	学習活動・内容	指導上の留意点	配時	形態
つかむ	1 前時の学習内容を振り返り、本時のめあてをつかむ。 ・目を引くタイトル→何についてか把握しやすい ・誘い文句→親しみがわきやすい  〈めあて〉 『大原中学校の生活』に掲載したい情報について検討しよう。	○本時の学習の見通しをもたせるために、前時の学習で捉えたリーフレットの表現の工夫とその効果について3名に発表させる。	5	一斉
	2 掲載したい情報を2つ考え、その情報を掲載する理由を具体的に書く。 ○WHYツリーの最初の枠に掲載したい情報を書く。 ・部活動 ・ふれあい合宿 ・合唱活動 ・体育大会 ・教科の勉強 ・テスト ○WHYツリーの2番目と3番目の枠に掲載する理由を書く。 ・ふれあい合宿 ├─ 友達ができるから ├─ 友達のよさがわかるから ├─ よい関係づくりのきっかけとなるから └─ さまざまな体験ができるから ├─ 協力することを学べるから └─ 達成感を味わえるから	○新入生説明会資料(H29)を用いることで、入学前の期待に溢れる気持ちを想起し、考えを具体的に書くことができるようにする。 ○思考ツールとしてWHYツリーを用い、思考を可視化できるようにする。 <b>【WHYツリー】</b> なぜ?(理由) 掲載したい情報 ──┬─ 〇 ├─ 〇 └─ 〇 ┬─ 〇 ├─ 〇 └─ 〇  ※WHYツリーは思考の過程を視覚化し、論理的に考えることができるようにするために用いる。	15	個
さぐる	3 WHYツリーを基に、小学校6年生が最も必要としている情報は何かについて交流する。 ・中学校生活に希望をもつことができる内容 ・中学校生活の見通しができ、安心感を与えられる内容	○その情報を掲載することで、どのような効果が期待できるのかを具体的に考えるように促す。	10	グループ一斉
	4 掲載したい情報を1つ選び、掲載する理由、情報収集の方法、情報の示し方を条件にしたがって書く。 ・条件1 掲載したい情報を〇に書く。 ・条件2 「掲載したい理由は、…。わかりやすく伝えるために…。」という形で書く。  ふれあい合宿 掲載したい理由は、入学してからまだ話すことができていない友達とよい関係づくりのきっかけとなるからです。わかりやすく伝えるために、「ふれあい合宿のしおり」を参考にして、具体的な活動内容をあげ、その活動のよさを紹介したいです。	○掲載したい情報の1つは、自分の考えと友達の考えの中から選ばせる。 ○わかりやすく伝えるためには、どのようにして情報を集め、どのようにしてリーフレットに書けばいいのか、具体的なイメージをもたせる。 ◇何のために、どのような意図で掲載しようとするかを具体的に考えている。	10	個
まとめ	5 書いた文章を基に本時を振り返り、自己評価をする。 ○書いた文章の内容を交流する。 ○授業でわかったことを書く。	○次時に向け、情報収集の方法、情報の示し方について見通しをもたせる。 ○授業でわかったことを数名に発表させる。		グループ個